

謹賀新年



あけましておめでとうございます。皆さまには希望に満ちた輝かしい新春をお迎えになられたことと、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から町政運営に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年5月18日に芳賀町長に就任し、公約にも掲げました第7次芳賀町振興計画の新たな策定や組織機構の見直しなどを進めてまいりました。

昨年8月26日には、町民の皆さまが待ち望んだLRT（次世代型路面電車）が開業し、町民の皆さまはもとより、町外・県外の皆さまにもご利用いただいております。これまでにはなかった新たな人の流れが生まれています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減され、ほとんどの行事やイベントが4年ぶりに開催されました。多くの皆さまに参加いただき、町に活気が戻ってきたと感じており、大きな変化と可能性を感じられた1年となりました。

芳賀町は、今年3月誕生70年を迎えます。4月20日には、町制施行70周年の記念式典と講演会を芳賀町民会館で開催し、道の駅はがでは、子ども達が楽しめる乗り物イベントを同時開催する予定です。

LRTを中心とした路線バスやデマンド交通の見直しを行うとともに、新たな公共交通導入の検討を進めます。芳賀町の魅力をさらにアピールすることで、町民の皆さまには「芳賀町に住んでよかった」と思ってもらえるとともに、町外の方には、芳賀町を知ってもらい、来町するきっかけづくりを行い、定住人口・交流人口の増加を図っていきます。

また、町中心部の祖母井地区の市街地整備を行うとともに、トランジットセンター周辺の下原地区における住宅地整備を推進していきます。

全国的に問題となっている空き家の対策として、空き家の積極的な活用を力を入れていきます。空き家バンクへの登録だけでなく、移住定住希望の方のニーズに応えられるよう民間事業者等と連携した取り組みを進めます。

地球温暖化防止対策として、循環型社会「環の町 芳賀」に加えて、カーボンニュートラルの取り組みをスタートいたします。町民の皆さまや立地企業の皆さまと連携しながら、快適な生活環境及び自然環境の保全に取り組み、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

今年4月、いよいよ第7次芳賀町振興計画がスタートします。この計画は、町民の皆さまの声を反映し、明るい将来像を描いた計画となります。日々の生活をスマートに過ごせるよう、そして、幸せを感じられるよう取り組んでまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして健康で幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和6年1月

芳賀町長 大関一雄



あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと拝察し、心よりお喜び申し上げますとともに、本年が輝かしい一年になりますことをご祈念申し上げます。

念頭のご挨拶の機会をいただきましたので、辰年の由縁について調べてみました。辰は龍のことで、十二支の中で唯一架空の生き物です。更に十干の甲の辰年なので、生命や万物の成長、活力が旺盛になる年であり、これまでの

努力が実って夢が叶いやすい年だそうです。「生命・万物の成長」と言う意味からは、私たちが4年ほど不安にさいなまれた新型コロナウイルス感染症を乗り越えて、人々の生活や社会活動が回復しています。町内においても運動会や町民祭などのイベントを、開催することができました。今回のような感染症拡大をきっかけに、人々が集まり和やかに会話ができて、穏やかな時間を安心して過ごせる平穏と安らぎは、何気ない日常の中に込められていたことをあらためて感じました。

そして「活力が旺盛になる」と言う意味からは、LRTの開業と本年3月に町制施行70周年を迎えることから、町勢の進展に期待が膨らみます。LRTの開業を迎えた喜びには、私が平成30年5月に行われた起工式に参加した際、将来への展望を祈願したことを思い出します。

鉄道の無かった本町にLRTを開通させるため粉骨砕身、努力を積み重ねた関係者の皆さまのお陰を持ちまして、開業したLRTは、通勤・通学などの新たな交通手段として利用されています。車輻の愛称であるライトラインの黄色と黒の車体には、町民の皆さまの輝きと、町と地域との調和が込められていると思っております。新聞の報道などによりますと、利用者数は当初の需要予測を大幅に上回っており、全線が新設されたLRTは、日本国内だけではなく海外からも注目を集めているそうです。

本年は、町民主体のまちづくりを計画の基盤とした新しい振興計画による町政運営がスタートします。これからの時代に適合して「活力に満ち住みやすいまち。未来永劫に持続していくまち。芳賀町」を目指します。

本年が、町民の皆さまにとりまして幸せで笑顔あふれる年になりますようご祈念申し上げ、議員一同、町勢発展のために自覚と矜持を持ち奮励してまいります。

これからも議会に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

令和6年1月

芳賀町議会議員 小林信二